



# Flashback Triple Delay

日本語マニュアル - Japanese Manual - 2014-10-14



# 目次

<b>重要 - 安全のための注意事項</b>	1	<b>セットアップ</b>	11	<b>メンテナンス</b>	27
<b>はじめる前に</b>	4	<b>インプット/アウトプット/コントロール類</b>	13	<b>FAQ</b>	30
<b>このペダルについて</b>	6	電源とエフェクトのオン/オフ	16	<b>リンク</b>	32
<b>TonePrint</b>	8	オーディオ・インプット&アウトプット	16	<b>仕様</b>	34
TonePrint とは？	9	外部エクスペッション・ペダル対応	17		
TonePrint アプリを使った TonePrint		USB ポート	18		
セッティングの転送	9	MIDI IN / MIDI THRU ジャック	18		
TonePrint Editor による TonePrint の作成	10	エフェクト・コントロール	19		
		ディレイ・タイプ	24		

# 重要 - 安全のための注意事項

1. 注意事項をお読みください。
2. 注意事項の書類は手の届くところに保管しておいてください。
3. 全ての警告をお守りください。
4. 全ての指示に従ってください。
5. 本機器は水の近くで使用しないでください。
6. 掃除には、乾いた布のみを使用してください。
7. 換気口は塞がないようにしてください。
8. 製造者の指示に従って設置してください。ラジエーター、暖房送風口、ストーブをはじめ、熱を発生する機器（アンプを含む）の近くに設置しないでください。
9. 有極プラグやアース付きプラグは安全性を確保するための構造です。無効にしないでください。有極プラグは、二本のブレードのうち、一方が幅広になっています。アース付きプラグは、二本のブレードと、一本のアース棒が付いています。幅広のブレードおよびアース棒は、使用者の安全を守るためのものです。製品に付属するプラグがコンセントの差し込み口に合わない場合は、電気工事業者に相談し、古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードは、特に差し込み部分、延長コード、機器から出ている部分において、人に踏まれたりはさまれたりしないように保護してください。
11. アクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルは、この装置用に販売されているもの、または製造者が指定するもののみを使用してください。カートを使用する場合は、機器を載せて移動する際に、機器の落下や怪我に注意してください。
13. 雷雨の発生中または長期間使用しない場合は、プラグをコンセントから抜いてください。



14. 保守整備は、必ず資格を持ったサービス技師にご依頼ください。電源コードやプラグの損傷、機器に液体がかかったまたは異物が入り込んだ場合、機器が雨や湿気にさらされた場合、正常に動作しない場合、機器を落とした場合など、機器が何らかの状態に損傷した場合には保守整備が必要です。

### 注意

本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

### 保守整備（サービス）

保守整備は、必ず資格のある作業担当者が実施してください。

### 警告

火災や感電のリスクを軽減するために、機器を雨や湿気にさらさないでください。花瓶等液体の入ったものを機器の上に置かないでください。閉じられた空間に設置しないでください。

### EMC/EMI

Electromagnetic compatibility/  
Electromagnetic interference

本機器はFCC 規準 Part 15 に準ずる Class B デジタル機器の制限事項に適合するための試験に合格しています。

これらの制限事項は、居住地域での設置時に生じる有害な電波障害を規制するために制定されたものです。本機器は無線周波エネルギーを生成・使用しており、これを放射することがあります。指示に従った設置と使用を行わないと、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況において電波干渉を起こさないという保証はありません。

本機器がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本機器の電源を立ち下げてから再度立ち上げてください。障害を及ぼすことがわかった場合、次の方法で干渉の解消を試みることを推奨します。

- ▶ 受信アンテナの向き、設置場所を変更する
- ▶ 本機器と受信機の距離を遠ざける
- ▶ 本機器を受信機と別の系統の電源回路に接続する
- ▶ 販売代理店、または経験のある無線／TVの技師に相談する

### For customers in Canada

This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

本 Class B デジタル機器は、カナダ ICES-003 に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

### 本書で使用する記号



三角形に括られた矢印付きの落雷マークは、接触すると感電の恐れがある、危険な高電圧の絶縁されていない部品が機器内部に配置されていることを示します。



三角形に括られた「!」サインは、機器を操作またはサービス作業を実施するうえで重要な指示が、製品に付属の文書類に記載されていることを示します。

# はじめる前に

## このマニュアルについて

このマニュアルは、製品の機能と操作方法の情報が含まれます。重要な情報を見落とすことのないよう、マニュアルは全体を通してお読みください。本マニュアルはPDF形式でのみ配布されており、TCエレクトロニクのウェブサイトからダウンロードできます。本PDFマニュアルは内部及び外部ハイパーリンクを含みます。各ページ左上のTCロゴをクリックすることで、目次に戻ることができます。本マニュアルの内容は、予告なく改訂されることがあります。マニュアルの最新版をダウンロードするには、TCエレクトロニクのウェブサイトをご参照ください。

[tcelectronic.com/support/manuals/](http://tcelectronic.com/support/manuals/)

## サポートについて

このマニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、弊社オンラインサポートまでご連絡ください。

[tcelectronic.com/support/](http://tcelectronic.com/support/)

**Enjoy your TC product!**

# このペダルについて

この度は、TC エレクトロニック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。弊社では製品を長期間ご使用いただけるよう最善を尽くしており、本製品を長くご愛用いただけることを願っております。

## Flashback Triple Delay

TC に届いた Flashback ユーザーからの感想に、ディレイ・ユーザーならではの発想が多く寄せられました。

「何台か同時に使えるようになればいいのに。」

Flashback Triple Delay の誕生です。

## 無限の音空間

テープ・エコーからピンポン・ディレイ、そしてリバース・ディレイへと、エフェクト・ペダルを繋げた経験があるギタリストは極めて稀でしょう。Flashback Triple Delay を使えば、そのようなワイルドなアイデアも、想像力の赴くままに難なく試すことができます。

ディレイ・エンジン間のシリアル／パラレル接続を選ぶことができ、複数のディレイを重ねた際のエフェクトの幅を一段と広めます。

## 主な特徴

- ▶ 3つのディレイ・エンジンを搭載
- ▶ 11種類のサブディヴィジョンを用意
- ▶ ディレイ間のシリアル／パラレル・ルーティング切り替えが可能
- ▶ TonePrint 対応
- ▶ タップ・テンポ搭載
- ▶ TonePrint x 4 スロットを含む合計 16種類のディレイ・タイプ搭載
- ▶ アナログ・ドライ・スルー機能
- ▶ 外部エクスペッション・ペダル対応
- ▶ ステレオ入出力
- ▶ MIDI 対応

## トゥルー・バイパス

TC はシンプルな音に対する信念を持っています。TC 製品を使用している間のサウンドは素晴らしくあるべきで、使っていない時にはその機材の「音」は一切聞こえるべきではない、と考えます。

本ペダルはトゥルー・バイパス仕様で、ペダルのバイパス時にもトーンに影響を与えません。また、本ペダルは、アナログ・ドライ・スルー設計で、ドライ音をデジタルに変換することなく出力し、原音をレイテンシーなくピュアな状態に保ちます。

使用環境や使用方法によっては、トゥルー・バイパスよりもバッファード・バイパスの方が好ましいことがあります。詳細は、「[バイパス・モード \(トゥルー・バイパス/バッファード・バイパス\)](#)」をご参照ください。

# TonePrint

本製品は、TonePrint に対応しています。TonePrint についての詳細は、次の URL をご参照ください。  
[tcelectronic.com/toneprint/](http://tcelectronic.com/toneprint/)

## TonePrint とは？

TC エレクトロニック TonePrint 対応ペダルは多数の内部パラメーターで構成され、本体のノブは、内部パラメーターの設定を様々な割り当てや組み合わせで変更しています。

TonePrint では、エフェクト・アルゴリズムの内部チューニングを変更したり、ノブの機能を「再定義」することができます。

## シグネチャー・サウンド

通常のノブ操作で得られる音の変化は、TC エレクトロニックの開発者・ミュージシャン・製品スペシャリストたちが作り上げた、バランスと高品位サウンド重視の標準的なセッティングとなります。

もし、世界中のトップ・プレイヤーにこの内部チューニングを一任したらどうなるでしょう。そして、自分でエフェクトそのものをチューニングできる自由を手に出したら ...

TonePrint は、この夢のような機能を実現します。[Steve Morse](#)、[Guthrie Govan](#)、[John Petrucci](#)、[Joe Perry](#) をはじめとした世界の名だたるトップ・プレイヤーによって作られた TonePrint の数々は、ペダルに隠された無限とも言えるポテンシャルを掘り起こします。

TC はこれらの TonePrint を一般公開しており、ユーザーは簡単に設定を製品本体にアップロードできます ([「TonePrint アプリを使った TonePrint セッティングの転送」](#)セクション参照)。また、TonePrint Editor を使えば、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成が可能となります。

## TonePrint アプリを使った TonePrint セッティングの転送

TonePrint セッティングをペダルに転送するには、スマホ用 TonePrint アプリを使用します。ペダルの設定変更に特殊な機材を別途用意する必要なく、TonePrint をペダルに「ビーム」転送できます。

## スマートフォン用 TonePrint アプリの入手方法

iPhone 用 TonePrint アプリは [Apple 社 App Store](#) からダウンロードできます。

Android 用 TonePrint アプリは [Google Play](#) からダウンロードできます。

アプリ以外の追加ダウンロードは必要なく、アプリ内課金はありません。アプリから、無償で全ての TonePrint に直接アクセスできます。

### TonePrint セッティングの転送 - 操作手順

- ▶ スマートフォンの TonePrint アプリを起動します。
- ▶ TonePrint を選びます。
- ▶ アーティスト、または製品（ペダルの種類）別にブラウズできます。おすすめの TonePrint も表示されます。
- ▶ TonePrint ペダルにギターまたはベースを接続します。
- ▶ TonePrint ペダルをオンにします。
- ▶ 楽器を 1 ピックアップの設定にして、ボリュームを上げます。
- ▶ スマートフォンのスピーカーを使用ピックアップに向けて近づけ、「Beam to pedal」をタッチします。

### TonePrint Editor による TonePrint の作成

既述の通り、スマートフォン用 **TonePrint アプリ** は著名ギタリストやベーシストによる TonePrint の転送に使用します。 **TonePrint Editor** は、そのコンセプトを一步突き進め、ユーザー自らの手で自分のシグネチャー・エフェクトの作成を可能とします。

### TonePrint Editor の主な特徴

- ▶ カスタム・バージョンの TC エフェクトを一から作成可能
- ▶ 全てのエフェクト・パラメーターとエフェクトの作用をコントロール可能
- ▶ ノブの機能とレンジをカスタマイズ可能設定はリアルタイムで確認可能
- ▶ PC / Mac 対応
- ▶ 無償

### TonePrint Editor の入手方法

Windows / OS X 版 TonePrint Editor のダウンロード URL は次の通りです。

[tcelectronic.com/toneprint-editor/](http://tcelectronic.com/toneprint-editor/)

Apple iPad 用 TonePrint Editor は、Apple の [App Store](#) からダウンロードできます。常に最新バージョンをご使用いただくことをお勧めいたします。

### TonePrint Editor マニュアルの入手方法

TonePrint Editor マニュアルは次の URL からダウンロードできます。

[tcelectronic.com/toneprint-editor/support/](http://tcelectronic.com/toneprint-editor/support/)

[Adobe Reader](#) をご使用の場合、マニュアルに含まれるリンクを使用できます。スクリーンショット内をクリックすると、そのセクションの解説ページに移動します。

# セットアップ

## Ready...

製品パッケージに次のアイテムが含まれていることをご確認ください。

- ▶ エフェクト・ペダル本体 x 1
- ▶ パワーサプライ
- ▶ USB ケーブル
- ▶ ラバー・ストリップ x 2
- ▶ TC エレクトロニック・ステッカー x 1
- ▶ TC エレクトロニック・ギター用製品リーフレット x 1

搬送時の破損がないことを確認します。万一破損が確認された場合は、配送業者と発送元にご連絡ください。製品の外箱と梱包材は保存しておいてください。万一搬送時に破損が生じた場合の証明として必要となる場合があります。

## Set...

- ▶ ペダルに次の仕様の 9V パワーサプライを接続します。



- 本製品はバッテリーボックスを搭載していません。使用するにはパワーサプライが必要です。
- ▶ パワーサプライをコンセントに接続します。楽器からペダルのモノラル・インプット・ジャックに 1/4" 標準楽器用ケーブルを接続します。ペダルのアウトプット・ジャックから次のエフェクターまたはアンプに 1/4" 標準楽器用ケーブルを接続します。

## Play!

# インプット/アウトプット/ コントロール類



Flashback Triple Delay – リア図

図をクリックすると、マニュアルの各セクションに移動します。



Flashback Triple Delay – トップパネル図

図をクリックすると、マニュアルの各セクションに移動します。

## 電源とエフェクトのオン/オフ

### 電源入力

ペダルの電源をオンにするには、本体のパワー・イン・ソケットにパワーサプライを接続します。

電源のコネクターは、標準的なセンターマイナスの 5.5 / 5 mm DC プラグです。

300 mA 以上の容量を持った 9 V パワーサプライをご使用ください (付属)。300 mA 以上の容量を持った他の 9 V ~ 12 V のパワーサプライを使用することも可能です。

ハムノイズ対策の観点から、パワーサプライは出力がそれぞれアイソレートされているものをご使用ください。

## オーディオ・インプット&アウトプット

### オーディオ・インプット (ステレオ)

インプット・ジャックは、モノラル/TS の標準 1/4" ジャックです。

- ▶ 音声ソースの信号がモノラルの場合は、「MONO」側にジャックを挿入します。
- ▶ 音声ソースの信号がステレオの場合は、L ch シグナルを「MONO IN」に、R ch シグナルを「STEREO IN」に入れます。

### オーディオ・アウトプット (ステレオ)

アウトプット・ジャックは、モノラル/TS の標準 1/4" ジャックです。

- ▶ 本製品の次に接続する機器がモノラル入力となる場合は、本製品の「MONO OUT」端子と次に接続する機器のインプット端子を接続します。
- ▶ 本製品の次に接続する機器がステレオ入力に対応している場合は、本製品の「MONO OUT」端子を次に接続する機器の L ch に、「STEREO OUT」端子を R ch に接続します。

## 外部エクスプレッション・ペダル対応

本製品には、エクスプレッション・ペダル（別売）を接続できます。設定によって、次のいずれかのパラメーターをコントロールできます。

- ▶ [ディレイ・タイム](#)
- ▶ [ディレイ・フィードバック](#)
- ▶ [ディレイ・レベル](#)

各パラメーターの解説は、後述のセクションをご参照ください。

設定は、次の順番で行います。

- ▶ エクスプレッション・ペダルでコントロールするパラメーターの指定
- ▶ コントロールするパラメーターのレンジの設定

3基のディレイ・エンジンで構成される Flashback Triple Delay では、[Delay 1/2/3 セレクター・スイッチ](#)で選択されたディレイ・エンジンをエクスプレッション・ペダルからコントロールできます。

## 対応エクスプレッション・ペダル

25 k $\Omega$ リニア曲線のエクスプレッション・ペダルをご使用ください。250 k $\Omega$ ログ曲線の標準的なギター用ボリューム・ペダルは、本ペダルのエクスプレッション・ペダルとしては使用できませんので、ご注意ください。

すでにお持ちのエクスプレッション・ペダルが本ペダルに対応するかわからない場合は、購入元の販売店または TC サポートまでご連絡ください。

## パラメーターの指定とパラメーター・レンジの設定

外部エクスプレッション・ペダルから、[ディレイ・タイム/フィードバック・レベル/ディレイ・レベル](#)を任意の組み合わせでコントロールできます。設定は[ディレイ・エンジン毎](#)に行え、設定内容は[ディレイ・エンジン・プリセット](#)に保存されます。

設定の手順は次の通りです。

- ▶ エクスプレッション・ペダルから EXP PEDAL ジャックにケーブルを接続します。
- ▶ ペダルをオンにします。
- ▶ [ディレイ 1/2/3 セレクター](#)でディレイ・エンジンを選択します。フットスイッチが点灯し、ディレイ・エンジンがアクティブの状態にあることをご確認ください。残りの2つのエンジンをオフにした方がわかりやすいかもしれません。
- ▶ ペダルを最大のポジション（つま先側）にします。
- ▶ ペダルでコントロールしたいパラメーターのノブを回して、最大値を設定します。
- ▶ ペダルを最小のポジション（かかと側）にします。
- ▶ ペダルでコントロールしたいパラメーターのノブを回して、最小値を設定します。
- ▶ フットスイッチをホールド（踏み込んだままの状態）にして、セッティングを保存します。
- ▶ エクスプレッション・ペダルを他のディレイ・エンジンにも割り当てたい場合には、同じ手順でエンジン毎に設定を行います。

## パラメーターの割り当てとパラメーター・レンジのリセット

プリセットに割り当てられたパラメーターとパラメーター・レンジをリセットする手順は次の通りです。

- ▶ エクスプレッション・ペダルから EXP PEDAL ジャックにケーブルを接続します。
- ▶ ペダルをオンにします。
- ▶ ディレイ 1/2/3 セレクター・スイッチで、ディレイ・エンジン (1/2/3) を選択します。
- ▶ フットスイッチが点灯し、ディレイ・エンジンがアクティブな状態にあることを確認します。
- ▶ ペダルを最大のポジション (つま先側) にします。
- ▶ 選択されているプリセットのフットスイッチをホールド (踏み込んだままの状態) にします。

## USB ポート

TonePrint セットアップを転送するための Mini-B USB 端子です。TonePrint Editor からアーティスト TonePrint を転送、または自作の TonePrint を転送できます。詳細は、「[TonePrint](#)」セクションをご参照ください。また、本機用のソフトウェア・アップデートがリリースされた場合は、アップデート作業にこのポートを使用します。詳細は、「[ファームウェアのアップデート](#)」セクションをご参照ください。

## MIDI IN / MIDI THRU ジャック

5 ピン DIN の標準 MIDI コネクターです。

## MIDI IN - MIDI インプット・ジャック

PC / DAW、または MIDI クロック出力対応機器の MIDI 出力を入力することで、ペダルのディレイ・テンポをコントロールできます。

MIDI クロックを受信すると [DELAY TIME](#) ノブの設定は無効となります。[サブディビジョン \(符割\) セレクター・ノブ](#)は引き続き有効で、受信クロックのテンポに対するディレイの音符 (拍) を決定します。

本機の受信チャンネルは 1 です。

## MIDI THRU - MIDI スルー・ジャック

MIDI IN の受信信号をスルー出力します。他の MIDI 機器の MIDI インに接続できます。

## エフェクト・コントロール

各ノブの機能は、あくまでもデフォルトの割り当てのものです。[TonePrint Editor](#) から、ノブを別のパラメーターまたはパラメーターの組み合わせに割り当てることができます。詳細は、[TonePrint Editor マニュアル](#)をご参照ください。

Flashback Triple Delay は 3 基の独立したディレイ・エンジンで構成されます。選択したエンジン 1 基分の設定を本体のコントロール類で設定できます。ディレイタイム等のパラメーターを変更しても音に変化が確認できない場合は、[DELAY 1/2/3 セレクター・スイッチ](#)で、未使用または MIX が低いレベルに設定されているエンジンが選択されていないかご確認ください。

## ディレイ・タイプ・セレクター

使用するディレイ・タイプを選択します。

各ディレイ・タイプの解説は、「[ディレイ・タイプ](#)」セクションをご参照ください。

ディレイ・タイプを変更すると、該当するディレイ・エンジンのディレイ成分が瞬時に途切れます。

## TIME - ディレイ・タイム・ノブ

ディレイ・タイムを調節します。

ほとんどのディレイ・タイプにおけるディレイ・タイムの設定レンジは 20 ms ~ 7000 ms (7 秒) です。SLP (スラップバック) の設定レンジは 20 ms ~ 300 ms です。

TIME ノブと TAP フットスイッチは、同じパラメーター (=ディレイ・タイム) を変更します。片方を変更すると、もう片方でなされた設定は更新されます。

## ディレイ 1/2/3 セレクター・スイッチ

3つのディレイ・エンジンの内、1つを選択します。選択したディレイ・エンジンに対して、次のコントロールが、有効になります。

- ▶ ディレイ・タイプ・セレクター
- ▶ TIME ノブ
- ▶ REPEATS ノブ
- ▶ MIX ノブ
- ▶ SUBDIV セレクター

## REPEATS - リピート (フィードバック) ノブ

DELAY 1/2/3 セレクター・スイッチで選択したエンジンの、ディレイ成分の出力を入力に循環させる量を調節することで、ディレイのリピート回数をコントロールします。

時計回りに回すほど、リピート回数が増えます。

MIX - ミックス (エフェクト・レベル) ノブ  
DELAY 1/2/3 セレクター・スイッチで選択したエンジンのディレイ信号のレベルを調節します。

ドライ信号 (原音) の音量は、常にユニティ・ゲインを保ちます。MIX ノブは、ディレイ信号のレベルのみに影響します。

### シリアル/パラレル・スイッチ

3つのディレイ・エンジンの内部ルーティングを選択します。

#### シリアル (上)

インプット→ディレイ・エンジン1→ディレイ・エンジン2→ディレイ・エンジン3→アウトプットの順に、直列に内部接続されます。

#### パラレル (下)

インプット信号は分岐され、並列して3つのディレイ・エンジンに送られます。3つのディレイ・エンジンの出力は、ミックスされた上でアウトプットに送られます。ルーティングの変更は、出音に大きい影響を与えます。これは、特殊なMIXノブの設定を行っている場合に特に当てはまります。

### SUBDIV - サブディビジョン (符割) セレクター・ノブ

設定したテンポに対して、サブディビジョン (符割) セレクターで拍を指定できます。選択肢は次の通りです。

- ▶ 付点四分音符
- ▶ 四分音符
- ▶ 三連四分音符
- ▶ 付点八分音符
- ▶ 八分音符
- ▶ 三連八分音符
- ▶ 十六分音符
- ▶ デュアル・ディレイ：四分+八分音符
- ▶ デュアル・ディレイ：四分+付点八分音符
- ▶ デュアル・ディレイ：付点八分音符+八分音符
- ▶ デュアル・ディレイ：付点八分音符+十六分音符

### ディレイ・エンジン／プリセット・フットスイッチ (1 / 2 / 3)

各ディレイ・エンジンのオン／オフを行います。エンジンがオンの際には LED が点灯します。

#### プリセットのリコール

ディレイ・エンジンをオフにした後に再度オンにすると、そのエンジンに保存されていたプリセットがリコールされます。特定のディレイ・エンジンのセッティングを変更して、保存しないままオフにした後再度オンにすると、変更した内容ではなく当初プリセットとして保存されていた内容に戻ります。

詳細は、「[プリセットの保存](#)」セクションをご参照ください。

#### プリセット・オフ／バイパス・モード

全てのフットスイッチ LED が消灯している状態はペダルがバイパス・モードにあることを示します。エフェクトのかかっていない状態で、ドライ音（原音）のみが出力されます。内部キルドライ（「[キルドライ・オン／オフ](#)」セクション参照）ディップスイッチをオンにしていずれのフットスイッチ LED も点灯していない場合、出力は無音となります。

### プリセットの保存

3つのディレイ・エンジンいずれかの設定を変更した際には、変更内容をプリセットに保存することができます。フットスイッチの操作で、ディレイ・エンジン毎に個別にプリセットの保存を行えます。

ディレイ・エンジン（1、2または3）の設定を保存するには、フットスイッチを約2秒間踏み続けます。

プリセットの保存が実行されると、フットスイッチのLEDが点滅します。プリセットの保存を行うと、約1秒間出力がミュートされます。

### ディレイのスピルオーバー

Flashback X4では、トゥルー・バイパスかバッファー・バイパスかを選べます。バイパス・モードの設定手順は「[バイパス・モード（トゥルー・バイパス/バッファー・バイパス）](#)」セクションをご参照ください。トゥルー・バイパス時には、プリセットをオフにするとディレイは瞬時にオフになります。バッファー・バイパス時には、プリセットをオフにするとディレイ成分の余韻が鳴り続けます（スピルオーバーします）。

### プリセットに保存されるパラメーター

プリセットには、ディレイ・モジュールの全てのセッティングが保存されます。ディレイ・タイプ・セレクターをTonePrintスロットに設定している場合は、その設定も保存されます。外部エクスプレッション・ペダルを接続している場合は、パラメーターの割り当てもプリセットに保存されます。

## TAP - タップ・フットスイッチ

タップ・テンポは、拍に合わせてフットスイッチを踏むことでディレイのテンポを設定する機能です。TIME ノブによるディレイ・タイム設定の代わりに行えます。

タップ・テンポを行うには、楽曲のテンポに合わせて四分音符の間隔で TAP フットスイッチを数回踏みます。

設定したテンポは、アクティブなディレイ・エンジン全てに適用されます。

タップ・テンポで指定したテンポを微調整するには、単純に再度タップを行います。

テンポの指定と表示は、サブディビジョン (符割) セレクター・ノブで指定した音符がベースとなります。サブディビジョン (符割) セレクター・ノブを四分音符に設定した状態でフットスイッチを一秒に 2 回タップすると、ディレイ成分が反復する速度は 120 bpm (一秒に 2 回) となります。ここでサブディビジョン (符割) セレクター・ノブを八分音符に変更すると、ディレイ成分が反復する速度は一秒に 4 回となります。3 つのディレイ・エンジンにそれぞれ異なる符割を与えることで、様々なエフェクトを得られます。

TIME ノブと TAP フットスイッチは、同じパラメーター (=ディレイ・タイム) を変更します。片方を変更すると、もう片方でなされた設定は更新されます。

TAP フットスイッチ LED は、ディレイ 1 / 2 / 3 セレクター・スイッチで選択されているディレイ・エンジンの現行テンポで常時点滅します。

## ディレイ・タイプ

ディレイ・タイプの選択は、ディレイ・タイプ・セレクターで行います。クラシックなテープ・ディレイからクリーンな TC 2290 のサウンドまで、様々な種類のディレイが用意されています。

## Tape - テープ

テープ・エコーのなめらかなサウンドを好きではない、という人はまずいないでしょう。TAPE は、メロウで揺らぎをもった汎用性の高いサウンドを奏でます。

## Tube - チューブ

古いチューブのテープ・エコーを再現します。ディレイ成分に微量な歪み成分が加わり、TAPE より一段とウォームなサウンドが得られます。

## Space - スペース

スペースで甘美なサウンドで知られる代表的なテープ・エコーの質感を尊重したディレイです。

## Analog - アナログ

ディレイ成分が徐々に霧の彼方に消え去っていくような、ヴィンテージ・アナログ BBD ディレイの魅力を再現します。

## Analog w/mod - アナログ (モジュレーション付)

ANALOG タイプのディレイ成分にモジュレーションを付加し、昔ながらの豪華絢爛なディレイがサウンドに華を与えます。

## Reverse - リバー

パートを録音、テープをひっくり返して、再生。ジミヘンドリックスを筆頭に、昔から数多くの名ギタリストたちがそうして逆再生サウンドを作り上げてきました。古くさいギミックだと思われたとしても、リバー

ス効果が今なお「実験的」なサウンドの代表格の一つであることに疑いの余地はありません。FEEDBACK ノブを下げると、リバース・サウンドのみになります。

### Dynamic - ダイナミック

名機 TC2290 の伝説的ともいえるダイナミック・ディレイ機能のレプリカです。入力信号の強弱がディレイの出力レベルに反映されます。演奏中はディレイの出力は抑えられ、入力が途切れると同時にディレイの出力が上がる効果が得られます。ディレイのレベルを高め設定している時でも、速めのリフを弾いた際のディレイの干渉を抑えることを可能とします。

### 2290

1985年、TC エレクトロニックは名機 TC 2290 ダイナミック・デジタル・ディレイを発表しました。2290 は、長年に渡ってプロフェッショナルディレイの代名詞となり、今なお多くのディレイマニアに称賛されています。ピュアでクリーン、最上級のスタンダードなディレイです。

### 2290 w/mod - 2290 (モジュレーション付)

2290 の超クリーンなサウンドを、3 系統のコーラスに通したサウンドです。U2 ファンには見逃せません。

### Slap - スラップ

スラップバック・ディレイを多用するジャンルの代表格といえばカントリーでしょうが、そのサウンド自体は幅広いジャンルに馴染みます。ブライアン・セツァー/チェット・アトキンズ/スコッティ・ムーア

といったスタッカート奏法の名手たちへのオマージュとして、またはリバースの代わりとしても使用できません。

### LoFi - ローファイ

ハイファイに飽きたら、ダーティーなローファイ・サウンドをお試しください。パンクからロックまで、どんなセッティングで使用しても、決してきれいなサウンドにはなりません。

### Ping Pong - ピンポン

ピンポン球のように、ディレイ音が左右に飛びます（もちろん、ステレオでないと「左右」にはなりません）。超ワイドなサウンドが得られます。ステレオ用に作られたエフェクトですが、モノラルで使用しても良好なサウンドが得られます。

\* 本マニュアルに記載されている他社製品の製品名は、各社の商標で、TC エレクトロニックとは無関係です。これらの製品名と解説は、本製品の開発時において研究対象となったことのみを示すものです。

## TonePrint スロット 1 ～ 4

ディレイ・タイプ・セレクターの「1」「2」「3」「4」は、TonePrint セットアップの保存場所です。各スロットに TonePrint セットアップを保存することで、4つの TonePrint を切り替えて使用することが可能になります。

TonePrint についての詳細は、[「TonePrint」](#) セクションをご参照ください。

ディレイ・タイプを変更すると、DELAY TIME 等他のノブの設定が瞬時にサウンドに反映されます。プリセットを変更してから各コントロール・ノブを回した場合は、回したノブのみのセットアップがサウンドに反映されます。

# メンテナンス

## ファームウェアのアップデート

TC は、製品のファームウェア・アップデートを公開することがあります。TC ペダル製品のファームウェアをアップデートするには、Windows または OS X を搭載した USB 対応パソコンと、ペダル用の DC パワーサプライが必要です。

## ファームウェア・アップデートの準備

- ▶ ファームウェア・アップデート用のファイルは、TC ウェブサイトの該当製品ページの「サポート」セクションからアクセスできます。
  - ▶ Windows 版は zip アーカイブ形式で供給されません。
  - ▶ OS X 版は、ファームウェア・インストーラーを含むディスクイメージファイル形式で供給されません。
- ▶ ペダルから、パワーサプライを含む全てのケーブルを外します。
- ▶ ペダルとコンピューターを USB 接続します。
- ▶ TC ペダル製品の一番左のフットスイッチをホールド（長押し）します。フットスイッチを長押ししたまま、電源ケーブルを接続します。
- ▶ ペダルの一番左側の LED が緑に点灯するはずですが、これは、ペダルがソフトウェア・アップデートを受け付ける準備ができていることを示します。
- ▶ フットスイッチを離します。
- ▶ これで、TC ペダルがアップデート可能な状態になります。

## ファームウェア・アップデートの適用

- ▶ コンピューター側で、起動している DAW 等全ての MIDI 関連アプリケーションを終了してから、ダウンロードしたペダルのファームウェア・アップdater を起動します。
- ▶ STEP 1 のヘッダの下に表示されるドロップダウン・リストから、アップデートする TC ペダルを選択します。
- ▶ STEP 2 の下に表示される「Update」ボタンが緑に表示されたら、クリックします。

ファームウェア・アップデートが TC ペダルに転送されます。プログレスバーが 100% に到達するのを待ちます。アップデート作業が完了したら、ペダルは自動的に再起動します。

## バイパス・モード (トゥルー・バイパス/ バッファー・バイパス)

### トゥルー・バイパスとバッファー・バイパス トゥルー・バイパス :

ハードウェア的にバイパスを行い、ペダルをバイパスした際に信号に一切影響を与えません。本ペダルの工場出荷時には、この設定になっています。少数のペダルを使用していて、ペダルの前後の配線も短距離の場合に適しています。

### バッファー・バイパス :

- ▶ ギターから一つ目のペダルまでに長いケーブルを使用する
- ▶ 多くのペダルを使用する
- ▶ エフェクトボードからアンプまでに長いケーブルを使用する

上記のようなセットアップをしている場合は、シグナルパス上の最初と最後のペダルのバッファーを有効にすることで最善のパフォーマンスが得られます。

トゥルー・バイパスとバッファー・バイパスの違いが聞き分けられるかというのは、数え切れない要素が絡みます。

アクティブとパッシブ・ピックアップ、シングル・コイルとハムバッカー、ケーブルのクオリティー、アンプのインピーダンス等、セットアップ全体の多くの要素が様々な形で相互に影響を与え合うため、一律な答えは存在せず、状況によって聞き分けられる場合もそうでない場合も存在します。一番頼りになるのは自分の耳となりますので、ご使用のセットアップに適した設定を探し当ててください。

バイパス・モードの設定手順は次の通りです。

- ▶ ケーブル類を外し、本体を裏返します。バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さい DIP スイッチが2つ見えます。上の DIP スイッチ (DC 9V コネクターに近い方) は、トゥルー・バイパス (デフォルト設定) とバッファー・バイパスの切替スイッチです。DIP スイッチのポジションを変えることで、バイパス・モードが切り替わります。バックプレートに戻します。

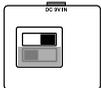
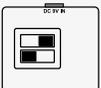
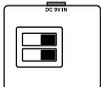
なお本製品のバックプレートを外すには「T10 トルクスレンチ」が別途必要となります。

## キルドライ・オン/オフ

キルドライはペダルのアウトプットから原音を取り除きます。この設定は、通常ペダルをパラレル・エフェクト・ループで使用する際に選択します。キルドライの設定手順は次の通りです。

- ▶ ケーブル類を外し、本体を裏返します。バックプレートのネジを外すと、左上の角に小さい DIP スイッチが2つ見えます。
- ▶ 下の DIP スイッチ (DC 9V コネクターから遠い方) が、キルドライのオン/オフ切替スイッチです。

キルドライを使えるのはバッファー・バイパスを選択している場合のみです (「[バイパス・モード \(トゥルー・バイパス/バッファー・バイパス\)](#)」参照)。トゥルー・バイパス時にキルドライは使用できません。

トゥルー・バイパス	
バッファー・バイパス	
キルドライ・オフ	
キルドライ・オン	

# FAQ

## TonePrint ペダルの FAQ

TonePrint ペダルはアナログとデジタル、どちらでしょう？

ギターのアナログ信号は、デジタル変換されることなくアナログのまま出力されます。ウェット信号は、アナログのギターの信号に重ねられます。

TonePrint ペダルのイン／アウト・ジャックはバランス仕様ですか？

はい。TonePrint ペダルのイン／アウトはアンバランス仕様です。TS ジャックの標準楽器用ケーブルをご使用ください。

この TonePrint ペダルをチューブアンプのセンド／リターン（ラインレベル）に接続することはできますか？

はい。TonePrint ペダルは広いゲインレンジを持っており、楽器レベルとライン・レベル両方に対応します。一部のアンプは、通常の +4 dBu のライン・レベルよりもホットに設計されています。そのようなアンプでは TonePrint ペダルのインプットでクリッピングが生じる可能性はあるものの、アンプとしては極めて例外的です。99% のアンプでは問題なく TonePrint をご使用いただけます。

Flashback Triple Delay はルーパー機能を搭載していますか？

Flashback Triple Delay にルーパー機能は搭載されておられません。ルーパー搭載の TC ギター・エフェクト・ペダルは次の通りです。

- ▶ [Flashback](#)
- ▶ [Flashback X4 Delay & Looper](#)
- ▶ [Alter Ego V2 Vintage Echo](#)
- ▶ [Alter Ego X4 Vintage Echo](#)

このマニュアルを読んだ後で本機の操作等についてご質問がございましたら、弊社オンラインサポートまでご連絡ください。

[tcelectronic.com/support/](http://tcelectronic.com/support/)

リンク

## TonePrint

- ▶ TonePrint  
[tcelectronic.com/toneprint/](http://tcelectronic.com/toneprint/)
- ▶ TonePrint 製品  
[tcelectronic.com/toneprint/toneprint-products/](http://tcelectronic.com/toneprint/toneprint-products/)
- ▶ TonePrint アプリ  
[tcelectronic.com/toneprint-app/](http://tcelectronic.com/toneprint-app/)
- ▶ TonePrint Editor  
[tcelectronic.com/toneprint-editor/](http://tcelectronic.com/toneprint-editor/)
- ▶ TonePrint Editor マニュアル  
[tcelectronic.com/toneprint-editor/support/](http://tcelectronic.com/toneprint-editor/support/)

## サポート

- ▶ TC Electronic サービス & 保証  
[tcelectronic.com/support/service-warranty/](http://tcelectronic.com/support/service-warranty/)
- ▶ TC Electronic サポート  
[tcelectronic.com/support/](http://tcelectronic.com/support/)
- ▶ TC Electronic – 製品ソフトウェア  
[tcelectronic.com/support/software/](http://tcelectronic.com/support/software/)
- ▶ TC Electronic – 製品マニュアル  
[tcelectronic.com/support/manuals/](http://tcelectronic.com/support/manuals/)
- ▶ TC Electronic ユーザー・フォーラム  
[forum.tcelectronic.com/](http://forum.tcelectronic.com/)

## TC エレクトロニック

- ▶ ウェブ  
[tcelectronic.com/](http://tcelectronic.com/)
- ▶ Facebook  
[facebook.com/tcelectronic](http://facebook.com/tcelectronic)
- ▶ Google Plus  
[plus.google.com/+tcelectronic/](http://plus.google.com/+tcelectronic/)
- ▶ Twitter  
[twitter.com/tcelectronic](http://twitter.com/tcelectronic)
- ▶ YouTube  
[youtube.com/user/tcelectronic](http://youtube.com/user/tcelectronic)

# 仕様

仕様は予告なく変更されることがあります。

バイパス モード	トゥルー・バイパス (バッファー・バイパス選択可)
信号回路	アナログ・ドライ・スルー
寸法 (幅 x 奥行き x 高さ)	235 x 145 x 57 mm
入力コネクタ	2 x 標準 1/4" ジャック - モノラル / TS、自動モノラル / ステレオ検知
入力インピーダンス	1 M $\Omega$
出力コネクタ	2 x 標準 1/4" ジャック - モノラル / TS、自動モノラル / ステレオ検知
出力インピーダンス	100 $\Omega$
エクスプレッション・ペダル・コネクタ	標準 1/4" ジャック
電源	標準 9 V DC、センターマイナス、>300 mA (パワーサプライ付属)
MIDI IN + MIDI THRU	標準 5 ピン DIN コネクタ
USB ポート	Mini USB コネクタ (カスタム TonePrint のエディット / アップロード、及びソフトウェア・アップデート用)

